

## 高齢社会に向けた技術の革新と成長への資金提供

投稿者：Rapid Access International, Inc.

2023年5月

本レポートを担当する Rapid Access International, Inc は日本の各種コンサルティング会社と連携する中で、日本政府と外国政府、非政府組織の間で交わされるさまざまな政策課題に関する情報交換を間接的に支援してきた<sup>1</sup>。近年は、スタートアップにとって健全な環境の整備が主要な関心分野となっている。注目すべきは、英国が近年この面で積極的な措置を講じていることである。その一つに、英国研究・イノベーション機構（UKRI）の創設がある。

MRI（三菱総合研究所）は、未来共創イニシアティブという会員組織を通じて、プラチナ社会実現に向けた会員間に同様の情報交換を促進することを目指しており、それは UKRI の対象分野の多くと同じ分野における投資とイノベーションにつながるものである。今後の重点分野の一つは高齢社会の多様な課題解決であり、英国の取り組みの背景と最近の投資事例から、海外のアプローチについての知見が得られるはずである。

### **UKRI チャレンジ基金による高齢化社会への重点的取り組み**

UKRI は 2018 年、英国科学・イノベーション・技術省（DSIT）の後援を受けて設立された機構である。この機構には「7つの分野別研究評議会、リサーチイングランド（イングランドの高等教育機関における研究・知識交換の支援を担当）、イノベート UK（英国のイノベーション機関）が結集」している<sup>2</sup>。

UKRI は、さまざまな主要基金とテーマに力を注いでいる<sup>3</sup>。その基金の一つである UKRI チャレンジ基金には4つの大きなテーマがあり、高齢社会はその一つとなっている。他の3つのテーマは、クリーンな成長、モビリティの未来、AI とデータエコノミーである。

---

<sup>1</sup> RAI ウェブサイトの「Our Services」参照: <https://www.rapidaccess.com/12522124691254012481-1246712531124691252312486124511253112464.html>（日本語対応）2023年6月8日閲覧

<sup>2</sup> UKRI ウェブサイトの「Our Organisation」参照: <https://www.ukri.org/about-us/who-we-are/our-organisation/> 2023年6月8日閲覧

<sup>3</sup> UKRI ウェブサイトの「Our main funds and themes」参照: <https://www.ukri.org/what-we-offer/our-main-funds/> 2023年6月8日閲覧

高齢社会のテーマでは、基金の焦点は 1) 疾病発見の迅速化、2) 健康長寿、3) データを活用した早期診断と精密医療の 3つの課題に向けられている<sup>4</sup>。UKRI の投資と支援の分野としての健康長寿は、経済社会研究会議 (ESRC) およびイノベート UK との連携の下、9800 万ポンドの予算がある<sup>5</sup>。

## 投資事例: EarSwitch 社

EarSwitch 社は、血圧、体温、心拍数、脈拍、血中酸素濃度などの主要なバイタルを測定する EarMetrics という耳のなかのセンサーを開発している。同社の目的は、補聴器技術を補完し、拡大する補聴器市場を活用することである。高齢者は補聴器以外のウェアラブルデバイスを紹介してこうした技術を採用する人が他の人口層より少ない傾向があるため、すでに使用しているデバイスならこうした医療情報にアクセスしやすくなるという考えである。

英国のスタートアップである同社は、技術を開発するために UKRI Healthy Ageing Challenge Grant (健康長寿チャレンジ助成金) を獲得している。イノベート UK との連携により、この助成金は Newable Ventures (<https://newable.co.uk/money/ventures/>) と Britbots (<https://www.britbots.com/>) からのマッチング投資と組み合わせられ、合計 100 万ポンドを超える投資額になった<sup>6</sup>。

この技術の採用がよりスムーズになれば、デジタルヘルスケアの成長トレンドに参加する高齢者が増加し、より正確な健康データを医療従事者に提供できるようになる。

EarSwitch の創設者であるニック・ゴンパーツ氏は、Medical Device Network とのインタビューで「UKRI の健康長寿助成金を付与されたことで当社は変わります。私はジェネラルパート

---

<sup>4</sup> UKRI ウェブサイトの「Ageing Society」参照: <https://www.ukri.org/what-we-offer/our-main-funds/ukri-challenge-fund/ageing-society/> 2023 年 6 月 8 日閲覧

<sup>5</sup> UKRI ウェブサイトの「Healthy Ageing」参照: <https://www.ukri.org/what-we-offer/browse-our-areas-of-investment-and-support/healthy-ageing/> 2023 年 6 月 8 日閲覧

<sup>6</sup> Robert Barrie 「インイヤーモニタリング技術のスタートアップが UKRI Healthy Ageing Challenge Grant を獲得」 Medical Device Network。2023 年 5 月 15 日。参照: <https://www.medicaldevice-network.com/news/in-ear-monitoring-tech-startup-wins-ukri-healthy-ageing-challenge-grant/>。2023 年 6 月 8 日閲覧

ナーとして EarSwitch を立ち上げており、神経学的状態にある人々が世界と関わり合う方法に耳の力を通じて革命を起こすというビジョンを持っています」と話している<sup>7</sup>。

## 最後に

EarSwitch の事例で注目すべきは、UKRI がベンチャー企業との連携を通じて投資のインパクトを最大化できたことである。助成金は投資の優先事項を定める手段になるが、重要なのは、民間ベンチャー企業をプロセスに含めることで投資の実効性を示しやすくなると想定できることである。

UKRI には、非常にさまざまな投資の優先事項がある。この比較的新しい機構におけるアプローチは、十分な情報に基づいており、説明可能なものであるとともに、世界中の政府や組織が取り得るモデルとして検討する価値があると思われる。脚注では、そのために役立つリソースへのリンクを提供しており、UKRI のさまざまな優先事項を知ることができる。

---

<sup>7</sup>同上